

*ソーシャルディスタ
ンスに配慮します。マ
スクの着用、検温、手
指消毒などにご協力
ください。

在住外国人の終末期(もしものとき、エンディング)ケアを考える

65歳以上の在住外国人が増えています。介護や福祉、医療サービスを受けるようになっていくと思います。あるいは、元気な外国人高齢者として、同じ地域の高齢者の生活支援を行う役割を担うかもしれません。外国人と日本人の生死に関わる習慣や文化、伝統など、互いに理解し、互いに尊重しあうことが重要となります。在住外国人の終末期ケアの在り方を考える会が、互いを知り、話し合い、互いの大切なものを尊重し続けることにつながる機会となればと思います。

外国人高齢者と接している方、今後、接する機会がありそうな方、また、今後、同じ地域の高齢者と接する機会がある外国人の皆さま等、地域にいます様々な方のご参加をお待ちしています。

□■日時■□ 2022年9月11日(日)13:30~15:00

□■会場■□ 静岡市地域福祉共生センター
「みなくる」地域交流スペース(南部図書館2階)

住所: 静岡市駿河区南八幡町3番1号

https://www.city.shizuoka.lg.jp/074_000106.html

□■内容■□

1. 在住外国人の終末期ケア「みせてお話し」ノート
-6言語-の紹介
静岡県立大学看護学部 前野真由美
2. 南米系外国人高齢者の現状と課題
常葉大学 堀内アリッセ泉
3. インドネシアでのイスラム教徒の生活と終末期・葬儀-日本との違い-
インドネシア語通訳・翻訳者
エフィ グスティ ワフユニ
4. 話し合い「外国人の終末期ケアで大切なこと」

□■在住外国人の終末期ケアの在り方に関する研究メンバー■□

静岡県立大学看護学部 前野真由美、国際関係学部 高畑幸、宮崎晋生、短期大学部こども学科 永倉みゆき、短期大学部歯科衛生学科 中村和美、常葉大学 堀内アリッセ泉、三村友美、海野有美子、えのもと循環器科・内科 榎本信雄、菊川シール工業株式会社健康管理室 原華代、静岡市駿河区小鹿豊田地域包括支援センター 岩崎圭介、共立女子大学看護学部 北川公子

協力: 静岡市地域福祉共生センター「みなくる」

□■対象■□ 外国人高齢者と接する方、介護・福祉・医療・保健に携わる方、外国人、医療通訳経験者、外国人医療に関心のある地域の方 20名(申込順)

□■参加無料■□

□■お申込み・お問合せ■□

下記のE-mailにて、お申し込みください。「お名前」と「連絡先」を教えてください。

maeno@u-shizuoka-ken.ac.jp

静岡県立大学看護学部 講師 前野真由美



ポルトガル語版、スペイン語版、フィリピン語版、中国語版、インドネシア語版、英語版を配布します。